

### 企業概要

- 社名：フジ美術印刷株式会社（山口県）
- 従業員数：24人      ■ 資本金：10百万円
- 事業内容：広告、カタログ、OA事務機用品等の印刷加工業務他

<https://www.fujib.com/>

- 売上高：1.9億円
- 知的財産：特許2件、商標4件



DM用印刷機（新折り機）

### 相談のきっかけ

#### DM用印刷のアイデアを具現化

印刷業界は、インターネットの普及に伴い、売り上げが低迷している。その状況の打開のために、社長が自らアイデア「ダイレクトメール(DM)用印刷」を見出した。そのアイデアを具現化した「新折り機」を作り、DM用印刷事業を1つの柱にしたいとの思いがあった。

#### 新折り機の知財保護と販路拡大

アイデアを具現化したDM用印刷が可能な装置（新折り機）を特許及び商標で保護できるようにした上で、DM用印刷を3000～5000枚／1H（自動）できるようにした。展示会などで盛んに発表した所、大手自動車販売会社／大手保険会社等から受注、更には新折り機自体を同業他社に販売したいと考えた。

### 課題と支援の内容

課題	支援のポイントと活用した専門家
知財権の取得	<ul style="list-style-type: none"> <li>新折り機及びDM用印刷の特許及び商標で保護する必要がある。</li> <li>既特許出願（係属中）見直しを行い、新折り機を権利範囲に含めることが可能か検討が必要である</li> </ul> <p>弁理士</p>
事業戦略の明確化	<ul style="list-style-type: none"> <li>知財で保護した新折り機の事業戦略の指針（ビジネスプラン）の策定が必要である。</li> <li>新折り機の需要に伴う事業展開の支援も必要である。</li> </ul> <p>知財経営専門家</p>
取引契約等の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>製造販売する会社（代理店含む）との売買契約の見直しと検討が必要である。</li> </ul> <p>弁護士 知財経営専門家</p>
ライセンス契約	<ul style="list-style-type: none"> <li>同業他者に新折り機のノウハウ込みライセンスの交渉と締結時の留意点の説明及び契約書作成の支援が必要である。</li> </ul> <p>弁護士 知財経営専門家</p>

### 支援を通じてできたこと

項目	支援成果
知財権の取得	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイデアを具現化した特許／商標出願を行い、新折り機／DM用印刷物を保護できるようにした。</li> </ul>
事業戦略の明確化	<ul style="list-style-type: none"> <li>DM用印刷物の事業が1つの柱にできる目途がついた。</li> <li>新折り機自体の販売も目途がつき、同業他社（数社）に売り込み開始の見込みがあった。</li> </ul>
販売契約の締結	<ul style="list-style-type: none"> <li>新折り機の販売会社／その代理店との販売契約（NDA含む）の締結を行うことができた。</li> </ul>
ライセンス契約	<ul style="list-style-type: none"> <li>新折り機につき、同業他者に対し、ノウハウ込みライセンス契約を打診した所、4社のうち2社と締結の目途がついた。</li> </ul>

### 社長の支援成果についてのコメント

アイデアを具現化し、知財で製品保護可能となり、更にはDM用の新折り機も完成し、DM用印刷も3000枚以上／1Hの目途がつき、DM用印刷事業で、3000万円以上／年、更にはノウハウ込みライセンスでも大きな成果が見込める。2021／3迄には事業の1つの柱になると考えている。

リーダー：加藤泰助（知財経営）  
支援担当者：田中毅（山口知財総合支援窓口）